

平成30年度事業報告書

公益社団法人 宮城県航空協会

自：平成30年4月1日

至：平成31年3月31日

総括

最初のご報告は、定款変更を行ったことです。公益社団法人認定後2回の立ち入り検査で2回とも指摘された事項は定款に定めた公示方法です。定款の改定は総会の議決事項で会員の3分の2以上の出席でその過半数の賛成が必要です。3分の2の出席数確保はそう簡単ではありませんが、委任状も出席数に含めるので掲示板やメールで広報して何とか確保でき議決することができました。

改定した条文は指摘を受けた（広告）を定めた第56条の「主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する」を「ホームページ上に表示する電子公告」に、また、時代に合わせたスマート運営の為に（書面議決等）を定めた第19条、（議決の省略）を定めた第36条の各条文に電子メールの使用を導入しました。

今年度は特に機体関係を説明する必要があるのご説明します。

5月には平田会員が購入したLS4 JA21XGが到着、6月にJA2317の整備中に水平尾翼を過って作業台から落下させ破損し保険対応で修理。前期の3月に関西エアロスポートクラブ様から無償譲渡を受けていたピラタスB4JA2325が6月30日耐空検査に合格し稼働。同じく関西エアロスポートクラブ様から有償譲渡の話があり滝川会員が購入したJA2554が8月から稼働。また、8月にはJA2326の操縦系統接続部の改造をJMGCで行いました。

期末の3月には1昨年5月にオーバーホールを発注したJA2178がオーバーホール完了して戻って来ました。その結果多彩な機体のラインアップになりました。団体会員東北大学学友会航空部は11月にJA40AKが塗装替えのため戦列から離れ、その後JA2173とJA01VTの2機体制になっています。

次に、フライト関係をご説明します。

角田滑空場の訓練実績日数が昨年度は85日だったのが今年度は105日と大幅に増えました。その他の要素も加わり練習会収入が前年度比で170万円増となり資金面で貢献しました。一方で11月初旬から諸事情により航空機曳航ができなくなったので東北大学学友会航空部のウィンチ曳航でフライト訓練をすることになりました。この体制は暫く続く見通しです。

霞目飛行場関係は格納庫に10月1日台風被害があり、その状況から土台部に老朽化の進行が認められたので対策費用準備積立を開始、積立目標金額600万円です。敷地使用料についてはJA30HTがハード滑走路を使用し空港着陸料支払で処理をしたので、格納庫敷地料570,892円だけの支払いとなりました。

しかし、平成31年度の使用申請が自衛隊からの指導で滑走路全体と誘導路全体の膨大な面積の申請となり3月末になっても許可書が未着なのが気がかりです。

角田滑空場関係は今期中には冠水ありませんでした。しかし、JA2178が戻って来ることを想定し、その退避場所として河川敷外の緊急避難場所の確保に努めました。成果として畜産家からビニールハウス1棟を借りられることになりました。但し、長さを3メートル延長と全体のビニール掛け等の改修が必要です。従って、その他の敷地の借用やJA2178専用運搬台車制作の進捗状況に合わせてベターな方向を見つけたいと考えています。

RWY32の北西風時対策のため上流側の滑走路脇に生えている立木の伐採作業と整地を行ない滑走路幅の拡張を試みています。

事業の概要

[公益事業 1]

(1) 定款第4条第1号の事業（航空機の操縦訓練とその関連事業）

1-1. グライダーによる練習会を主に土曜、日曜及び祝祭日に行った。

[宮城県航空協会の部]

霞目飛行場： 34日 曳航機の離発着及び格納庫での機体整備で使用

角田滑空場： 105日

延べ参加者人数：1,254名

機 種	飛行時間(時間+分)	飛行回数
JA30HT	87+34	639回
JA2326	176+15	671回
JA2554	47+08	138回
JA2317	71+08	164回
JA2325	22+07	62回
JA2178	10+52	27回
JA2458	109+29	34回
JA2186	40+40	87回
JA21XG	7+38	23回
合 計	572+51	1845回

[団体会員東北大学航空部の部]

角田滑空場活動：64日 延べ722人参加			角田滑空場以外の活動：5日	
機 種	飛行時間 (時間+分)	飛行回数	飛行時間 (時間+分)	飛行回数
JA40AK	59+16	459回		
JA01VT	15+25	33回		
JA2173	112+52	843回	5+05	32回
合 計	187+33	1335回	5+05	32回

競技会参加結果：七大学総合体育大会平成30年2月28日～3月6日

関宿滑空場 団体戦7位、個人7位（小西）

1-2. 訓練の成果

エンジンの無いグライダーの訓練成果の1つに滞空時間やクロスカントリーの野外飛行があげられるが平成30年度の滞空時間の内訳は

時 間	回数 (航空協会)	回数 (東北大)	合 計
1時間以上	59回	7回	66回
2時間以上	10回	1回	11回
3時間以上	11回	1回	12回
4時間以上	5回	0回	5回
5時間以上	6回	0回	6回

平成 30 年度の距離飛行の内訳は

O L C より 50 km以上を抜粋 (OLC は表の下段注参照)			
日 時	使用機体	飛行距離 (km)	備 考
2018/4/8	JA2458	169.71	
2018/4/15	JA2458	613.5	
2018/4/21	JA2458	247.45	
2018/4/22	JA2458	384.22	
2018/4/30	JA2186	106.23	
2018/5/12	JA2458	124.76	
2018/5/19	JA2458	343.64	
2018/5/19	JA2326	52.88	
2018/5/27	JA2458	134.44	
2018/8/11	JA2458	100.87	
2018/8/17	JA2458	295.19	
2018/8/18	JA2458	223.62	
2018/9/17	JA2458	316.23	
2018/9/23	JA2554	59.99	
2018/10/28	JA2458	308.27	
2018/11/17	JA2458	244.99	
2018/11/23	JA2458	149.12	
2018/12/1	JA2458	176.48	
2018/12/24	JA2326	100.97	
2018/12/31	JA2554	51.52	
2018/12/31	JA2458	79.89	
2019/1/2	JA2554	79.65	
2019/1/3	JA2458	86.34	
2019/1/5	JA2458	180.05	
2019/1/6	JA2458	318.76	
2019/2/10	JA2458	139.62	
2019/2/23	JA2326	63.36	
2019/2/23	JA2554	57.96	
2019/3/23	JA2458	621.59	
2019/3/24	JA2458	656.11	
合計		6487.41 k m	

注：O L C とは：オン・ライン・コンテストの略。インターネット上で毎日記録のコンテストを行っているサイト。

- 1-3. 特定技能審査の実施
- | | |
|------|------|
| 滑空機 | 13 名 |
| 陸上単発 | 1 名 |

- 1-4. 操縦教育証明実地試験の受験 なし
 自家用技能証明実地試験の受験 宮城県航空協会 なし
 東北大学航空部 なし

(2) 定款第4条第2号の事業（航空機等展示、体験飛行、展示飛行による航空に関する知識、特に航空スポーツの知識の普及事業）

2-1 子供グライダー教室

スカイネット角田、スポコム角田と協力し子供グライダー教室を当初5回計画し実施は5回

- 第1回 開催日時：平成30年7月15日
 開催場所：角田滑空場
 参加人数：子供6名 保護者9名
 教室内容：航空教室およびウィンチ曳航による体験飛行（JA40AK, JA2173）
- 第2回 開催日時：平成30年8月12日
 開催場所：角田滑空場
 参加人数：子供5名 保護者8名
 教室内容：航空教室およびウィンチ曳航による体験飛行（JA2326）
- 第3回 開催日時：平成30年8月19日
 開催場所：角田滑空場
 参加人数：子供5名 保護者7名
 教室内容：航空教室およびウィンチ曳航による体験飛行（JA2326, JA2173）
- 第4回 開催日時：平成30年9月16日
 開催場所：角田滑空場
 参加人数：子供7名 保護者10名
 教室内容：航空機曳航によるグライダーJA2326、JA40AKで体験飛行
- 第5回 開催日時：平成30年10月9日
 開催場所：角田滑空場
 参加人数：子供6名 保護者8名
 教室内容：航空機曳航によるグライダーJA2326、JA2554で体験搭乗

2-2 地元住民有志の体験搭乗会

角田市佐倉8区の住民約16名を招き芋煮会を行いながら体験搭乗会を行った。

- 開催日時：平成30年11月24日
 使用機体：JA2326、JA2554
 体験搭乗者：11名

2-3 慶應義塾大学付属高校航空部合宿受け入れ

慶應義塾大学付属高校航空部の合宿を受け入れた

- 開催日時；平成30年7月14日～16日
 7月21日～22日
 参加人数：12名

2-3 通常訓練時に角田滑空場の来場見学者にグライダーを説明し地上における体験搭乗を行った。

また、希望者には体験飛行を提供した。

- 開催日：通常訓練時随時 77日
 訪問見学者：336名がグライダーの説明を聞きその内120名が体験飛行をした。

その他阿武隈川堤防からの見学者多数あり。

(3) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した地上展示、地上搭乗体験及びデモフライト

3-1 角田宇宙っ子まつり

スカイネット角田と協力し角田市が主催する「角田宇宙っ子まつり」においてグライダー展示、紙飛行機大会、イラストコンテストを実施し開催を支援した。

開催日 : 平成 30 年 5 月 5 日

会 場 : 角田市台山公園

展示機体 : Discus bT

来場者数 : 約 4,000 人 (主催者発表) グライダー展示会場に約 500 人

3-2 角田市「ファミリーサイクリングフェスティバル」参加者が角田滑空場へ来場見学会

開催日時 : 平成 30 年 6 月 4 日

参加者数 : 31 名に JA2326 を教材にグライダーについて説明

(4) グライダー、モーターグライダーを使用した技量記章及び記録認定事業

4-1 日本滑空記章	A 章 3 名 (航空協会)	4 名 (東北大)
	B 章 2 名 (航空協会)	7 名 (東北大)
	C 章 2 名 (航空協会)	3 名 (東北大)
	銅章 なし (航空協会)	1 名 (東北大)

4-2 F A I 国際滑空記章

該当者なし

(5) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した飛行技術研究とその成果の伝承事業

5-1 異常飛行姿勢からの回復操縦訓練 : 「錐もみ」状態に陥らないための訓練を中心に随時行った。

5-2 ウェーブコンタクトフライト

最高到達高度	回 数	備 考
2,500m~3,000m	3 回	
3,000m~4,000m	13 回	要酸素飛行
4,000m~5,000m	6 回	要酸素飛行
5,000m以上	4 回	要酸素飛行

5-3 高高度及び長距離

飛行技術研究及びその伝承

平成 31 年 3 月 23 日、茂田慶一会員がフリーフライトで 621.59 km を飛行。OLC 世界 3 位となりました。

平成 31 年 3 月 24 日、F.A.I 飛行記録 1000 km に齋藤岳志会員が挑戦したが 656.11 km で達成できませんでした。

(6) 定款 4 条第 5 項の事業 (その他この法人の目的達成に必要な事業)

6-1 東北大学ウインドノーツ (鳥人間コンテストに出場のためのクラブ) にテスト飛行のため

角田滑空場の使用許可を出した。

期 間：平成30年6月16日～7月15日

使用実績

平成30年6月23日走行試験3回、飛行試験9回

平成30年7月14日走行試験1回、飛行試験8回

大会結果：平成30年7月28、29日の大会は台風により中止

6-2 第6回全国グライダークラブミーティングに参加した

全国グライダークラブの若い指導者が集まり、情報交換、指導のあり方、事故防止対策等を話し合う目的の会議

開催日：平成30年10月13日～14日

会 場：久住高原荘

参加クラブ：(公社)宮城県航空協会、(公社)日本滑空協会、(公社)長野グライダー協会、NPO 法人関宿滑空場、関西エアロスポーツクラブ、(公財)日本学生航空連盟、大野グライダークラブ、NPO 法人九州グライダースポーツ連盟、北九州グライダークラブ、中部日本航空連盟静岡支部(遠州グライダークラブ)、中部日本航空連盟愛知支部(岡崎グライダークラブ)、中部日本航空連盟岐阜支部、(一社)静岡県航空協会、(公社)日本グライダークラブ、(公社)滝川スカイスポーツ振興協会(SATA)、NPO 法人蕪崎市航空協会

参加者数：16団体、20名

6-3 滑空スポーツ講習会 2018 仙台会場へ講習派遣

日 時：平成31年1月26日(土) 13:00～17:00

場 所：仙台駅西口 仙都会館 4F 会議室

主 催：公益社団法人日本滑空協会

共 催：公益社団法人日本航空機操縦士協会

一般社団法人日本飛行連盟

NPO 法人 AOPA-JAPAN

NPO 法人全日本ヘリコプター協議会

後 援：国土交通省航空局

参加人数：26人

演 題：「東北ウェーブを中心にした XC」

派遣講師：茂田 慶一

6-4 第26回仙台空港気象懇話会に講師派遣

日 時：平成31年2月21日(木) 15:00～16:30

場 所：仙台空港旅客ターミナルビル3階有料待合室

主 催：仙台航空測候所

演 題：「蔵王山系から発生する山岳波について」

派遣講師：茂田 慶一

6-5 日本航空宇宙学会北部支部 2019 年講演会へ講師派遣

日 時： 平成 31 年 3 月 20 日（水） 15:20～16:00

場 所： かくだ田園ホール

主 催： 日本航空宇宙学会北部支部

参加人数：50 人

演 題；「滑空機による奥羽山脈から発生する山岳波を利用した高高度及び長距離飛行について」

派遣講師：齋藤 岳志

6-6 角田滑空場の年間通算約 50 日の草刈り整備事業を行った

6-7 航空機への無線による飛行援助サービスの提供を行った。

[公益事業 2]

1. 定款第 4 条第 4 号の事業（災害発生及び緊急時離発着場として提供できる関連施設の設置・運用と維持管理事業）

仙台空港の復興により仙台空港を基地とするヘリコプターを使用する航空会社は申請してこなくなりました。しかし、災害や救急は何時発生するかわかりません。そのために申請の有無にかかわらず着陸隊の草刈り等の整備維持管理は行います。

庶務の概要

1. 社員及び会員の移動

	()内は正社員数	入会者数	退会者数
平成 30 年 4 月 1 日時点の総会員数	80 名 (74 名)	1 名	5 名
平成 31 年 3 月 31 日時点の総会員数	76 名 (70 名)		

2. 定款第 13 条第 2 項による社員総会の開催

1. 日時：平成 30 年 6 月 9 日（土） 18 時 00 分～19 時 00 分

2. 会場：仙台ガーデンパレス 4 階会議室

3. 出席人数：61 名（うち委任状出席 39 名）

4 議事録署名人：議長 神谷文夫、代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、齋藤岳志、古川健二

5. 議題とその結果

(1)第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書について

齋藤理事及び酒井理事より、平成 29 年度の事業報告について事業報告書に基づき説明が行われ、上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

(2)第 2 号議案 平成 29 年度決算報告書について

木村代表理事より、平成 29 年度の決算内容について決算報告書（貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、その付属明細書、財産目録）に基づき詳細に説明が行われた。

さらに、片倉監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告が行われ、上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮った

ところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

(3)第3号議案 定款変更について

木村代表理事より新旧対比表をもとに定款変更の説明が行われ、上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ、異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

(4)第4号議案 任期満了に伴う役員改選について

最初に理事の選出について木村代表理事より、定款第25条1項の定めにより当法人の理事全員が、本定時社員総会の終結の時をもって任期満了により退任するので、次期理事の候補者は次のとおりである旨の説明があり、議長は候補者ごとに個別に賛否を議場に諮ったところ、それぞれ満場一致をもって承認可決された。

なお、被選任者の全員が定時社員総会に出席しており、席上、それぞれ就任を承諾した。

理事(重任) 木村義彦、酒井忠政、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川 勉、山田昌宏、古川健二

(就任) 菅原 壽

続いて監事の選出について木村代表理事より、定款25条2項の定めにより当法人の監事片倉修氏は本定時社員総会の終結の時をもって任期満了により退任。中川章氏が平成30年5月29日に死亡したため、候補者は定款の定数2名以上4名以内の規程の範囲の2名とし、その候補者は次のとおりである旨の説明があり、議長は候補者ごとに個別に賛否を議場に諮ったところ、それぞれ満場一致をもって承認可決された。

なお、片倉修及び神谷文夫は定時社員総会に出席しており、席上、それぞれ就任を承諾した。

監事(重任) 片倉 修

(就任) 神谷文夫

(5)報告事項

- ・平成30年度事業計画について報告された。
- ・平成30年度収支予算について報告された。

3.定款第31条2項による理事会の開催

第1回 理事会

1. 日時 平成30年5月5日(土) 18時30分～21時30分
2. 場所 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦
理 事 酒井忠政、神谷文夫、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、古川健二
監 事 片倉修

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、古川健二、監事 片倉修

4. 議題とその結果

(1) 第1号議案 平成29年度事業報告承認について

木村代表理事及び酒井理事より、資料に基づき平成29年度事業報告について説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 平成29年度決算報告承認、監査報告について

木村代表理事より、平成29年度の決算内容について決算報告書(貸借対照表、収支計算書)に基づき説明が行われた。

さらに、片倉監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報

告があった。

以上の審議の後、議長は第1号議案及び第2号議案についてその賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 定款の一部変更について

酒井理事より、資料に基づき宮城県の立入検査で指摘された改善事項について定款第56条(公告)を変更する案の説明が行われ、更に第2条(事務所)、第19条(書面議決等)、第36条(決議の省略)の変更案が説明され、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(4) 第4号議案 平成30年度定時社員総会について

定款第13条2項では毎年1回6月に開催すると定めており、平成30年度総会を6月9日(土)18時から仙台ガーデンパレスにて開催することが提案され承認された。また、当日17時から総会前打合せを行うことが承認された。

(5) 第5号議案 任期満了に伴う役員改選について

酒井理事より、次期役員について現在の役員は原則留任とし、さらに東北大航空部監督の菅原寿氏を理事に推薦するという案が提示され、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

第2回 理事会

1. 日時 平成30年9月1日(土) 18時00分～20時00分

2. 場所 角田事務所

3. 出席者 代表理事 木村義彦

理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、菅原寿、古川健二

監事 片倉修、神谷文夫

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、古川健二、

監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結果

(1) 第1号議案 モーターグライダー・SF28Aについて

木村代表理事より、日本モーターグライダークラブにおいて整備中であるが、整備スケジュール遅延について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 ピラタスB4・JA2317及びJA2279の耐空検査について

木村代表理事より、日本モーターグライダークラブにおいて整備中であるが、JA2317の水平尾翼は保険対応で修理済みであり、JA2279については今すぐ必要ではないのでモーターグライダーのオーバーホール作業を優先して作業を進めてもらうとの説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 ツインⅢ・JA2554の運用及び運航について

斎藤理事、滝川理事より、JA2554の運用及び運航について、JA2326と同じ運用及び料金体系で行うこととし、当面酸素システムは装備せず運用することの説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(4) 第4号議案 山岳波を利用した高高度及び長距離飛行技術研究について

斎藤理事より、資料に基づき目的、方法、成果の公開等について説明が行われ、今後取り組んでいきたいとのことで、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

第3回 理事会

1. 日時 平成30年11月24日(土) 18時10分～20時10分
2. 場所 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦
理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、菅原寿、古川健二
監事 片倉修、神谷文夫
議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、古川健二、
監事 片倉修、神谷文夫
4. 議題とその結果

(1) 第1号議案 平成30年度補正予算について

木村代表理事より、資料に基づき平成30年度補正予算について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。なお、モーターグライダー JA2178 の整備に係わる経費が確定していないので、再度予算の補正を行うことになることが説明された。

(2) 第2号議案 モーターグライダー・SF28A について

木村代表理事より、日本モーターグライダークラブにおいて整備中で、機体の登録番号は JA2178 となる。現在主翼及び胴体を整備しており12月中の完了を目指しているとの説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 ピラタスB4・JA2279の耐空検査について

木村代表理事より、日本モーターグライダークラブが整備しているピラタス B4・JA2279 については、時間がかかるものの耐空検査まで行って引き渡すとの話があったとの説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

第4回 理事会

1. 日時 平成31年2月9日(土) 17時50分～20時10分
2. 場所 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦
理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、菅原寿、山田昌宏、古川健二
監事 片倉修、神谷文夫
議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、古川健二、
監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結

(1) 第1号議案 平成31年度事業計画(案)承認について

斎藤理事より、資料に基づき平成31年度事業計画(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 平成31年度収支予算(案)承認について

木村代表理事より、資料に基づき平成31年度収支予算(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 霞目格納庫老朽化対策費用準備資金取扱規程(案)について

木村代表理事より、上記規程(案)について説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員

異議なく承認された。

- (4) 第4号議案 霞目格納庫老朽化対策費用準備資金取扱規程により
平成30年度400万円を積み立てることについて

木村代表理事より、上記規程に基づき、平成30年度400万円を積み立てたいとの説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

- (5) 第5号議案 モーターグライダーJA2178の最終整備価格と支払い承認について

木村代表理事より、平成29年12月の見積りの通り支払う予定であるが、不確定な事態については一任をお願いしたいとの説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

- (6) 第6号議案 石川弘志さん入会承認について

石川弘志さんからの入会申込があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

以上

尚、補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成しておりません。